

NSF、第4次PIREプログラムの下、助成対象となる12事業を発表（1月15日）

米国科学財団（National Science Foundation：NSF）は1月15日、第4次国際研究教育パートナーシップ（Partnerships for International Research and Education：PIRE）プログラムの下、助成対象となる12事業を発表した。

2005年に開始されたPIREプログラムは、

- ①最先端の科学・工学における新たな知識体系及び発見の促進
- ②米国における多様かつ国際的な科学・工学人材の育成
- ③有効な国際共同研究に資するための、米国大学における組織面の強化

の3点の達成を目的とし、イノベーションを促進する国際的共同研究・教育事業を支援するものである。

今回は、ミシガン工科大学（Michigan Technological University）が主導するバイオ燃料開発が社会環境システムなどに与える影響に関する研究を始め、クリーンかつ安全で信頼性があり、価格の手頃な代替エネルギー開発に関する事業が多く採択された。

なお、米国国際開発庁（United States Agency for International Development：USAID）及び米国環境保護庁（U.S. Environmental Protection Agency）のほか、JSPS、JST、米州地球変動研究機関（Inter-American Institute for Global Change Research：IAI）、ロシア教育科学省（Ministry of Education and Science of the Russian Federation）、英国経済・社会研究会議（United Kingdom Economic and Social Research Council：ESRC）、英国工学物理科学研究会議（United Kingdom Engineering and Physical Science Research Council：EPSRC）という米国内外の8機関がPIRE事業を支援している。

今回採択された12事業の詳細は、<<http://www.nsf.gov/od/oise/pire-2012-list.jsp>>からダウンロード可能。

National Science Foundation, NSF Supports Global Research to Advance Science and Engineering for Sustainability

http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=126531